

アジアの環境と私たち

—もう無関心ではいけない—

国立環境研究所理事長
大塚柳太郎

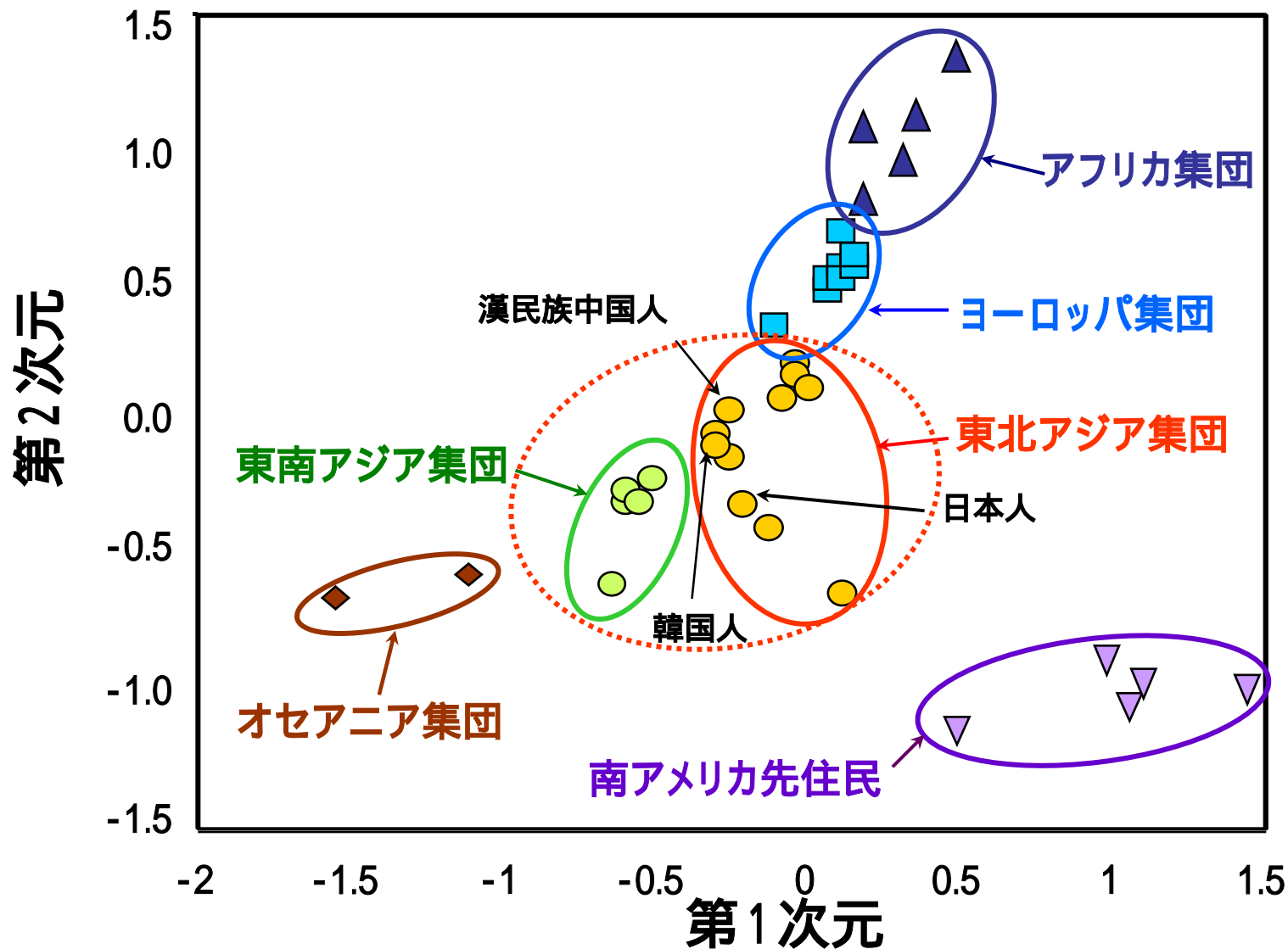


キーワード1

多様性に富むアジア



多様な気候帯



HLA (ヒト白血球抗原) 遺伝子で見た人間集団の近縁度

様々な人々と多様な文化



タイ北部のティン(陸稲の収穫)



中国・雲南省のジノ
(水牛を用いる水田耕作)



ヨルダンのアラブ人
(ヤギ・ヒツジの牧畜民)

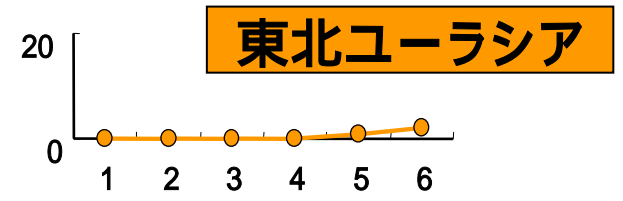
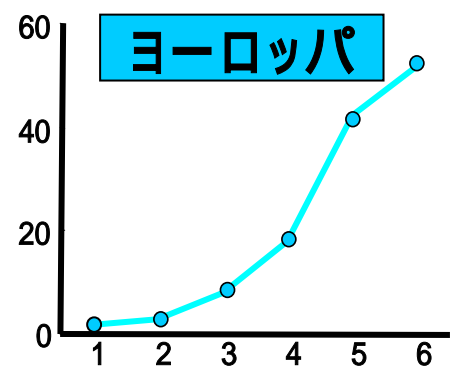
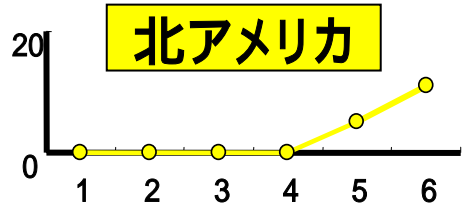


パプアニューギニアの高地人
(サツマイモ耕作民)

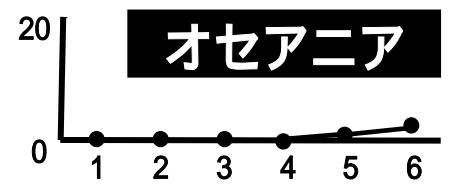
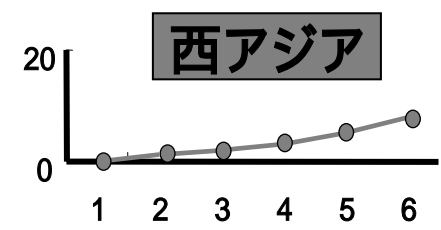
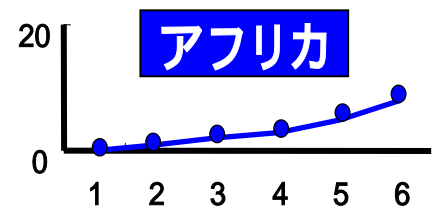
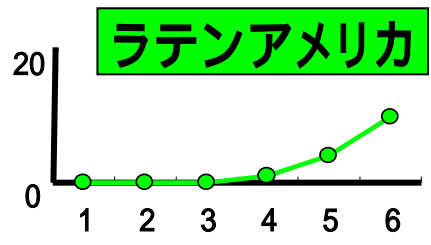
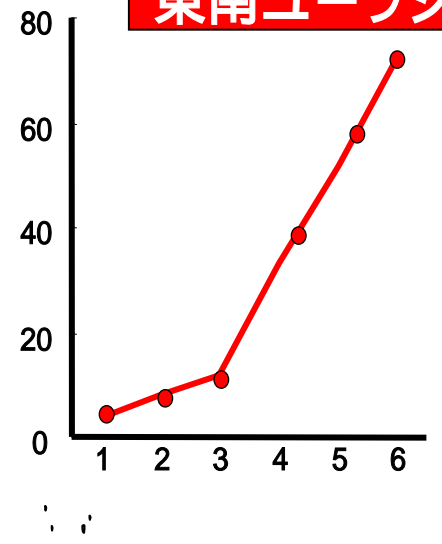
キーワード2

人口が多いアジア

キーワード2 :人口が多いアジア

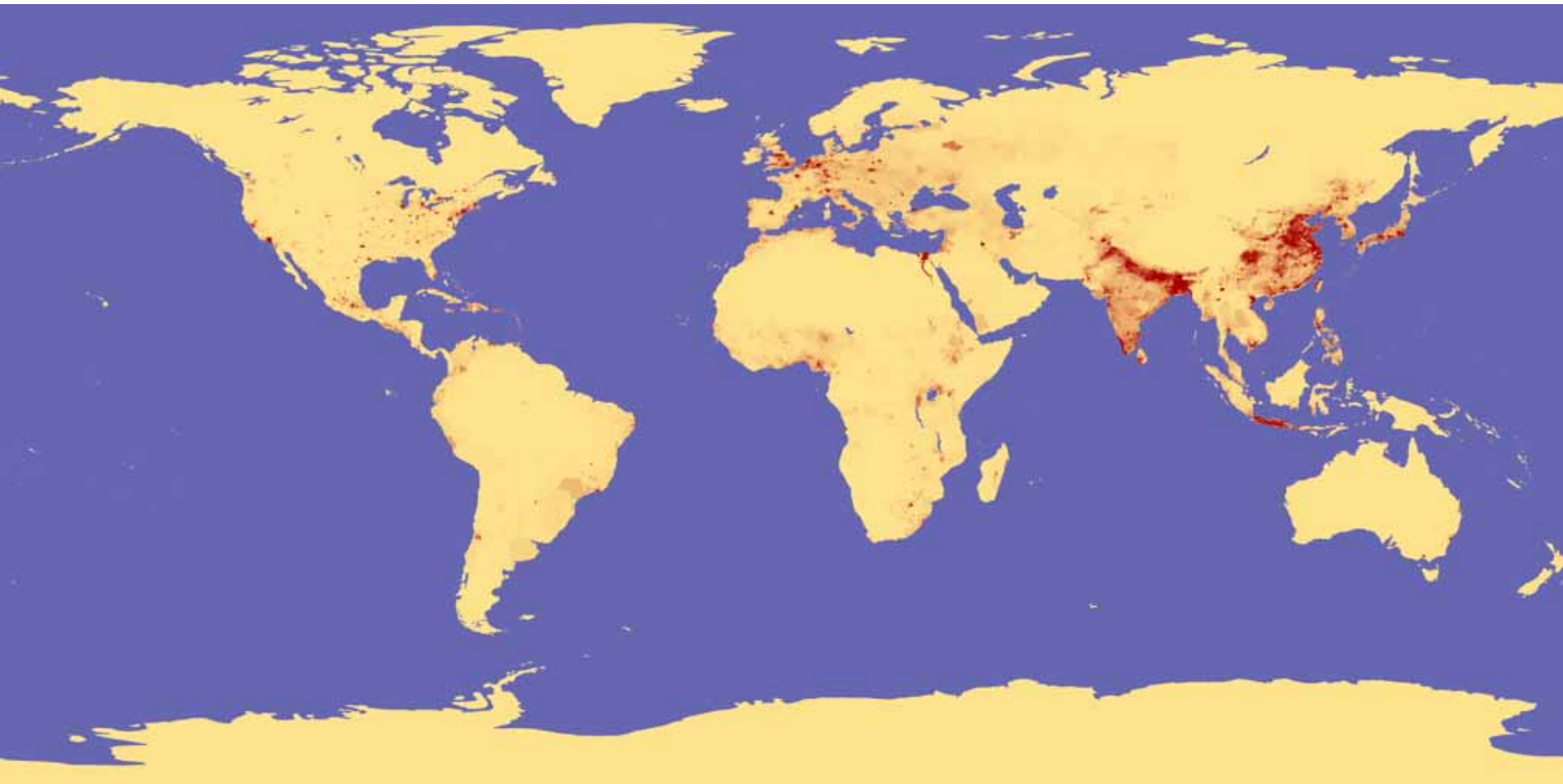


凡例
 1: 西暦元年
 2: 1000年
 3: 1500年
 4: 1800年
 5: 1900年
 6: 1950年

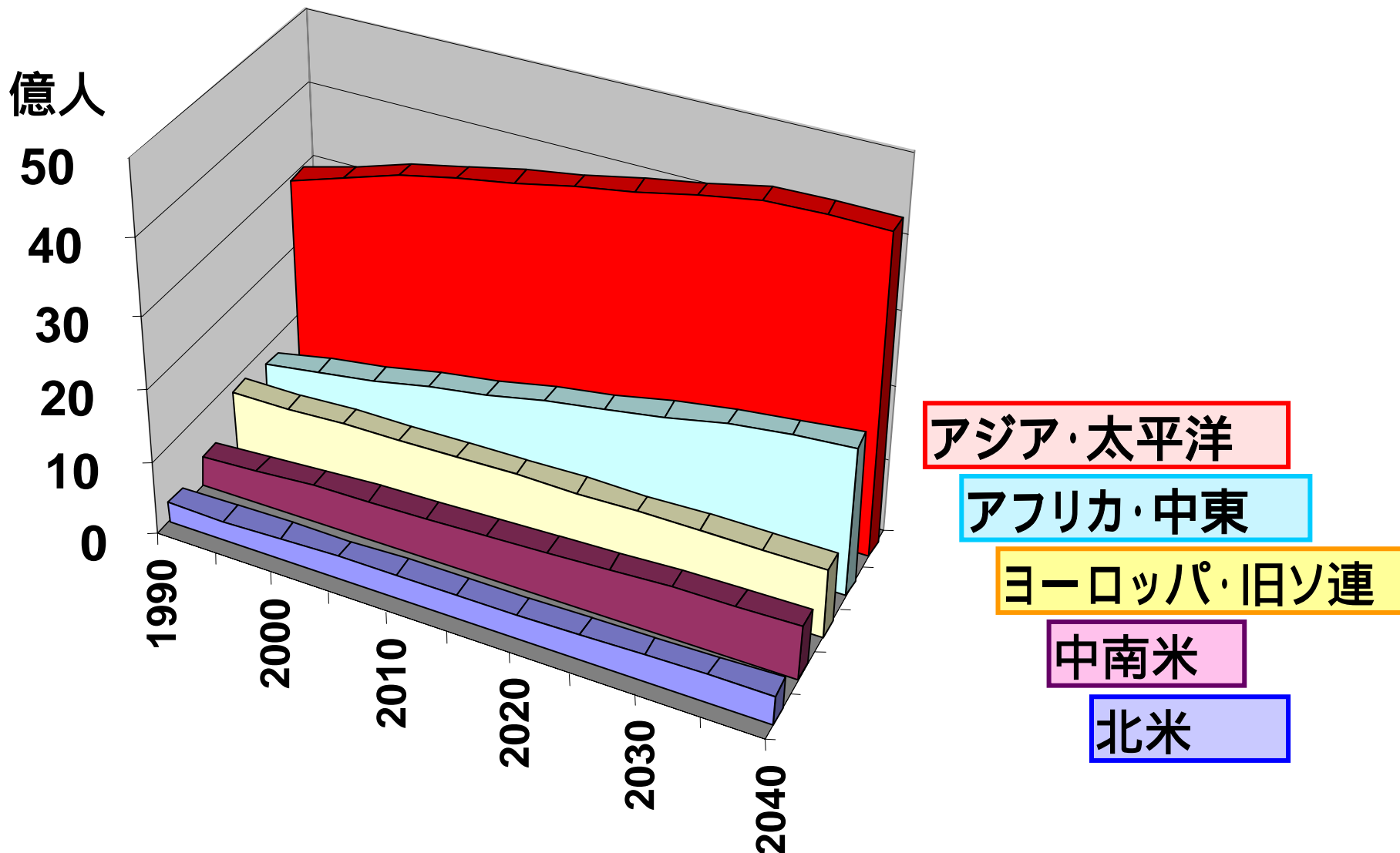


世界各地の人口密度の推移 (人/km²)

世界の人口分布(人口密度)



世界各地域の将来人口予測



キーワード3

経済発展と環境負荷の増大

〔環境への負荷〕 =

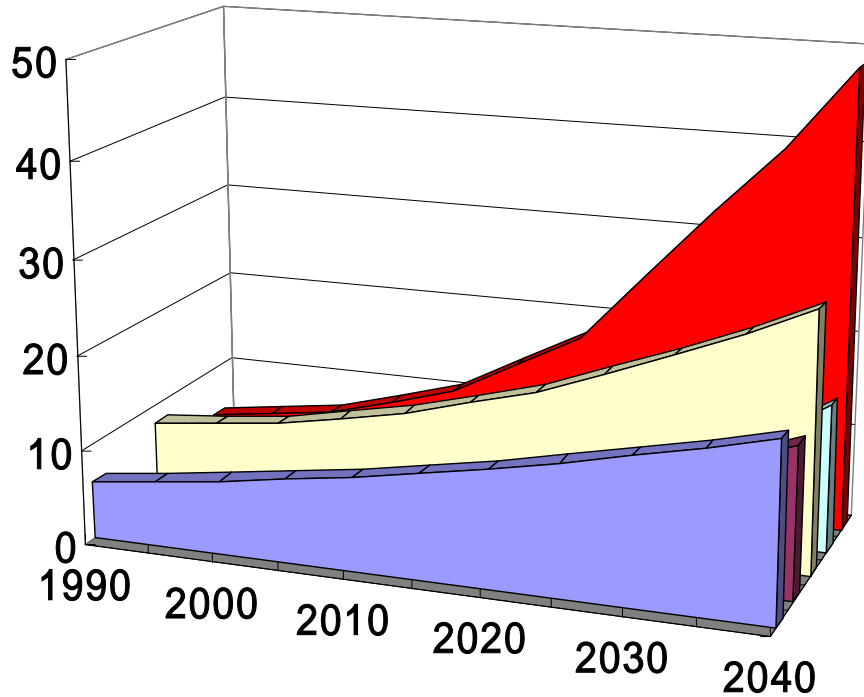
〔人口〕 ×

〔1人あたり消費量〕 ×

〔消費単位あたり資源量〕

(P・エーリックほか)

GNP (国民総生産) とエネルギー消費量の予測



国民総生産 (兆US\$)

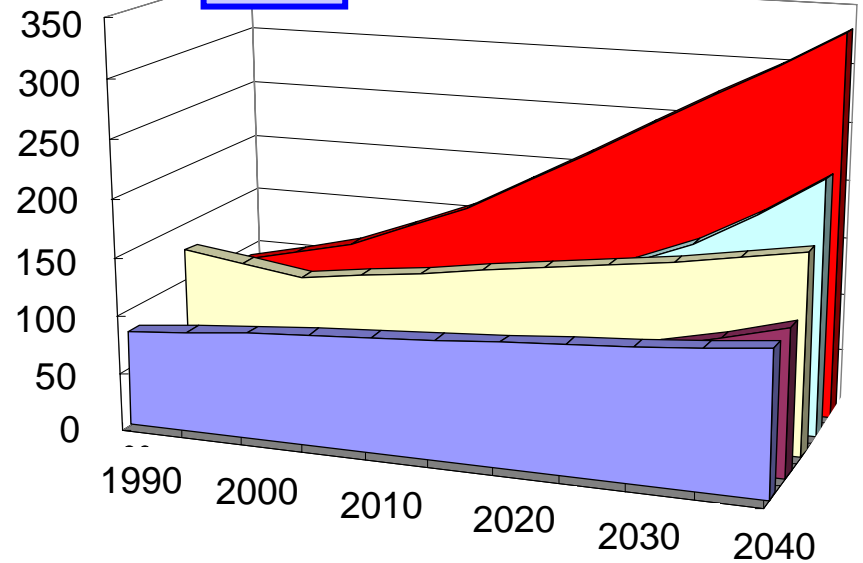
アジア・太平洋

アフリカ・中東

ヨーロッパ・旧ソ連

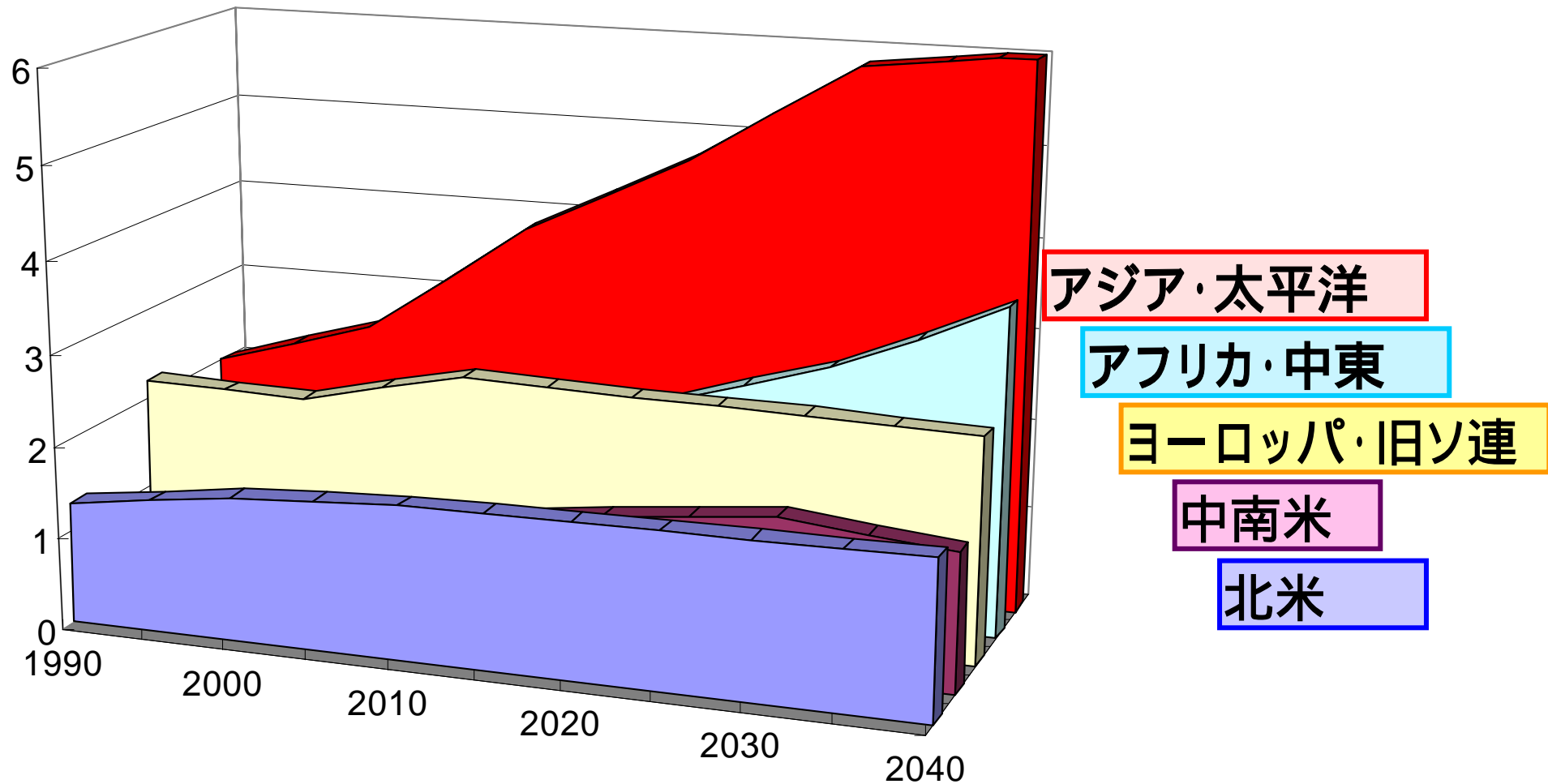
中南米

北米



エネルギー消費量 (10^{19} J)

CO₂排出量の予測 (Gt-C: 炭素換算ギガトン)



キーワード4

環境はつながっている



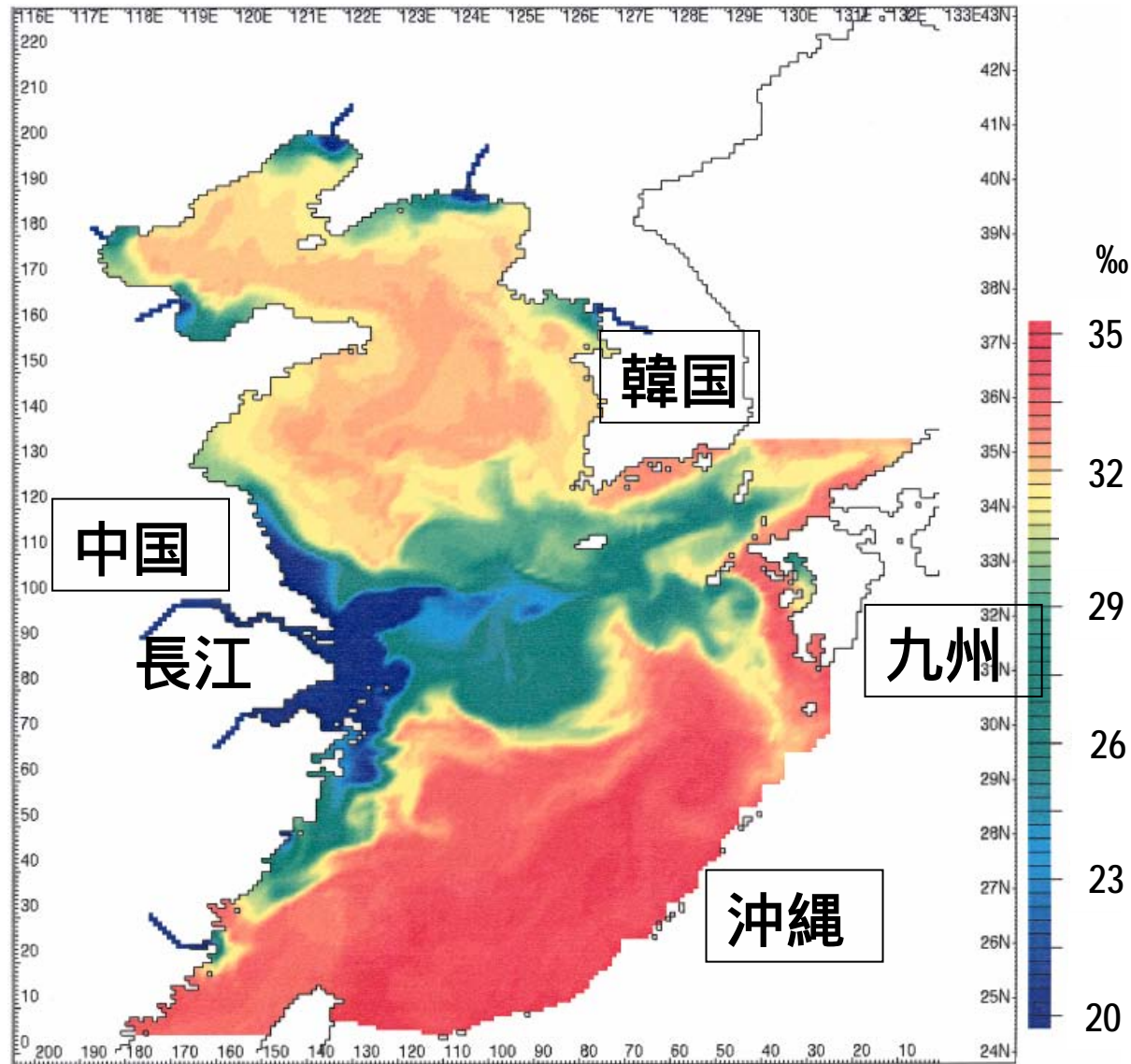
黄河

長江

メコン川

アジア大陸と大河川

塩分濃度分布のシミュレーション結果(1998.9.8)



完成が近い長江中流域の三峡ダム(中国)



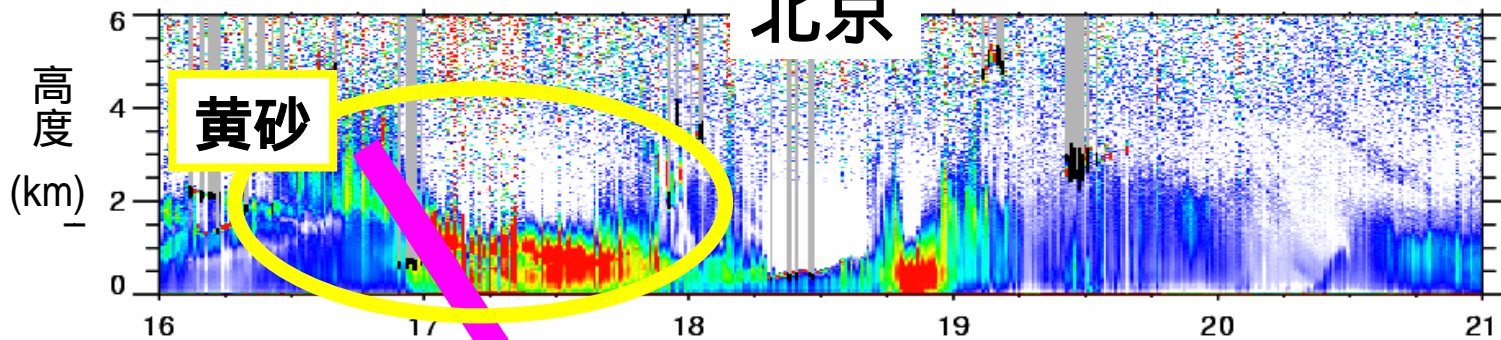
2002年4月の大黃砂現象時の天安門



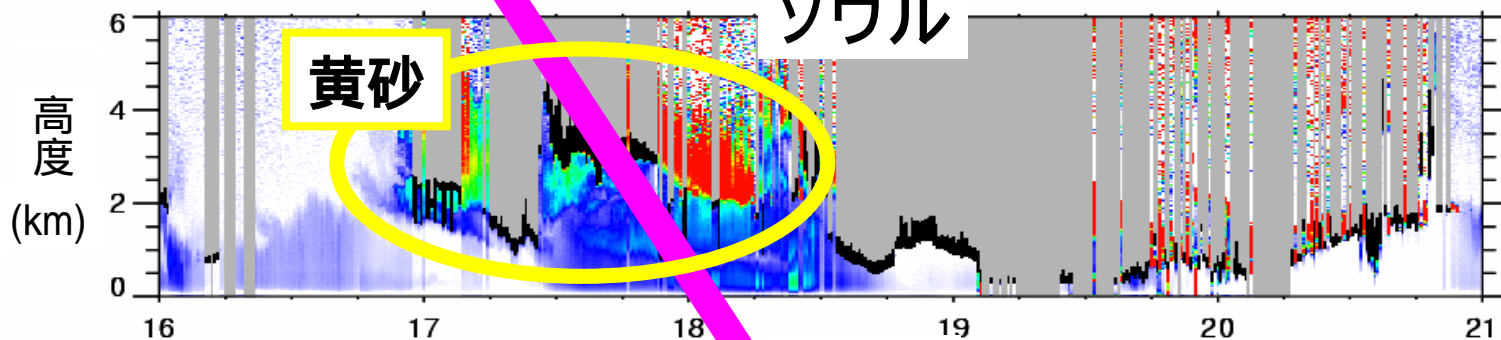
黄砂エアロゾルの主な発生地域



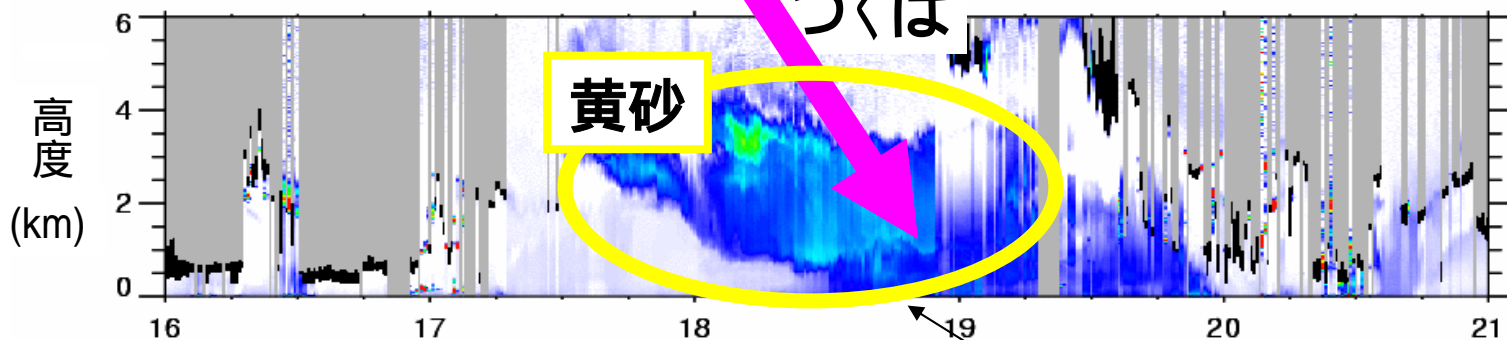
北京



ソウル



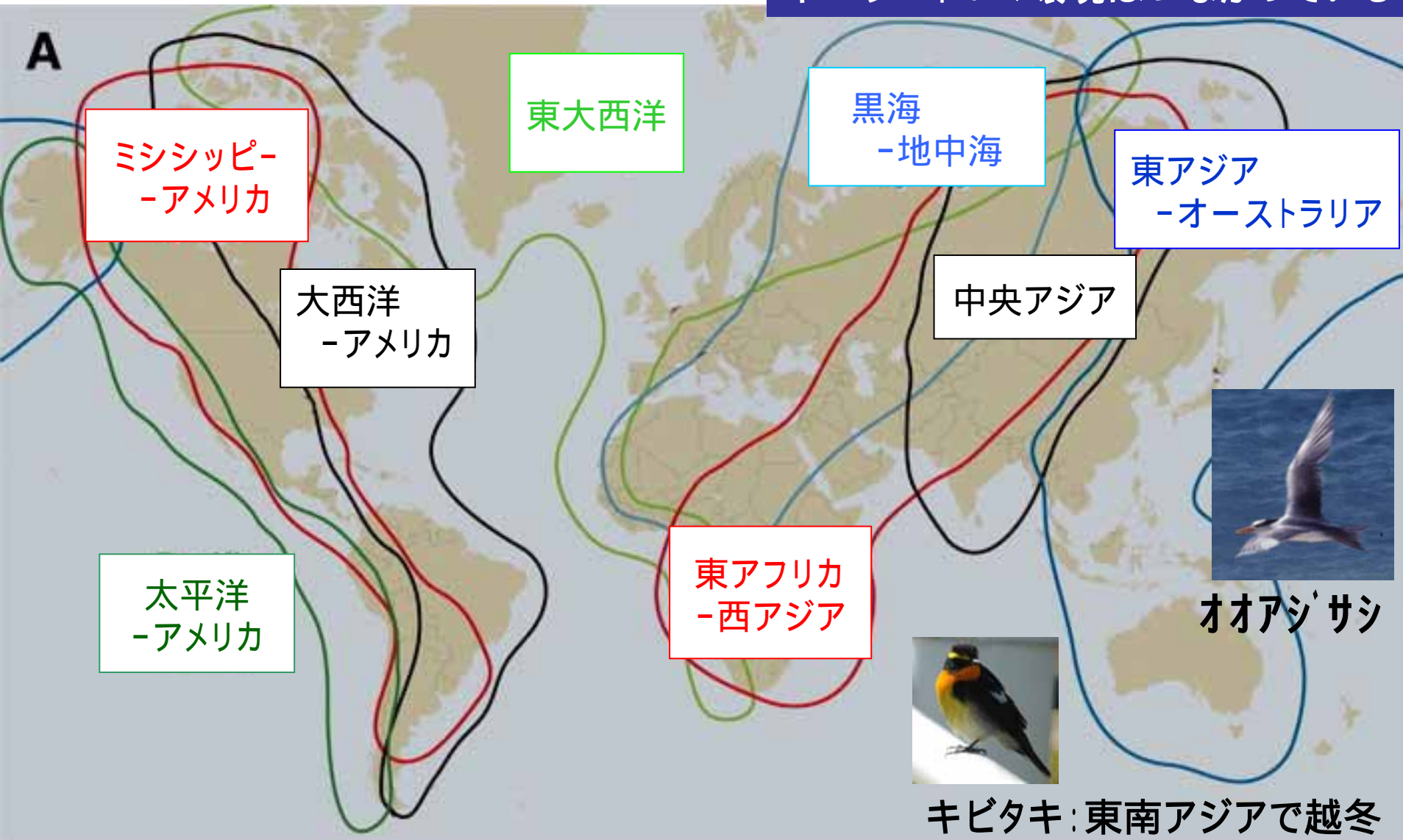
つくば



2006年4月

4月18日: 東京で6年ぶりに黄砂を観測

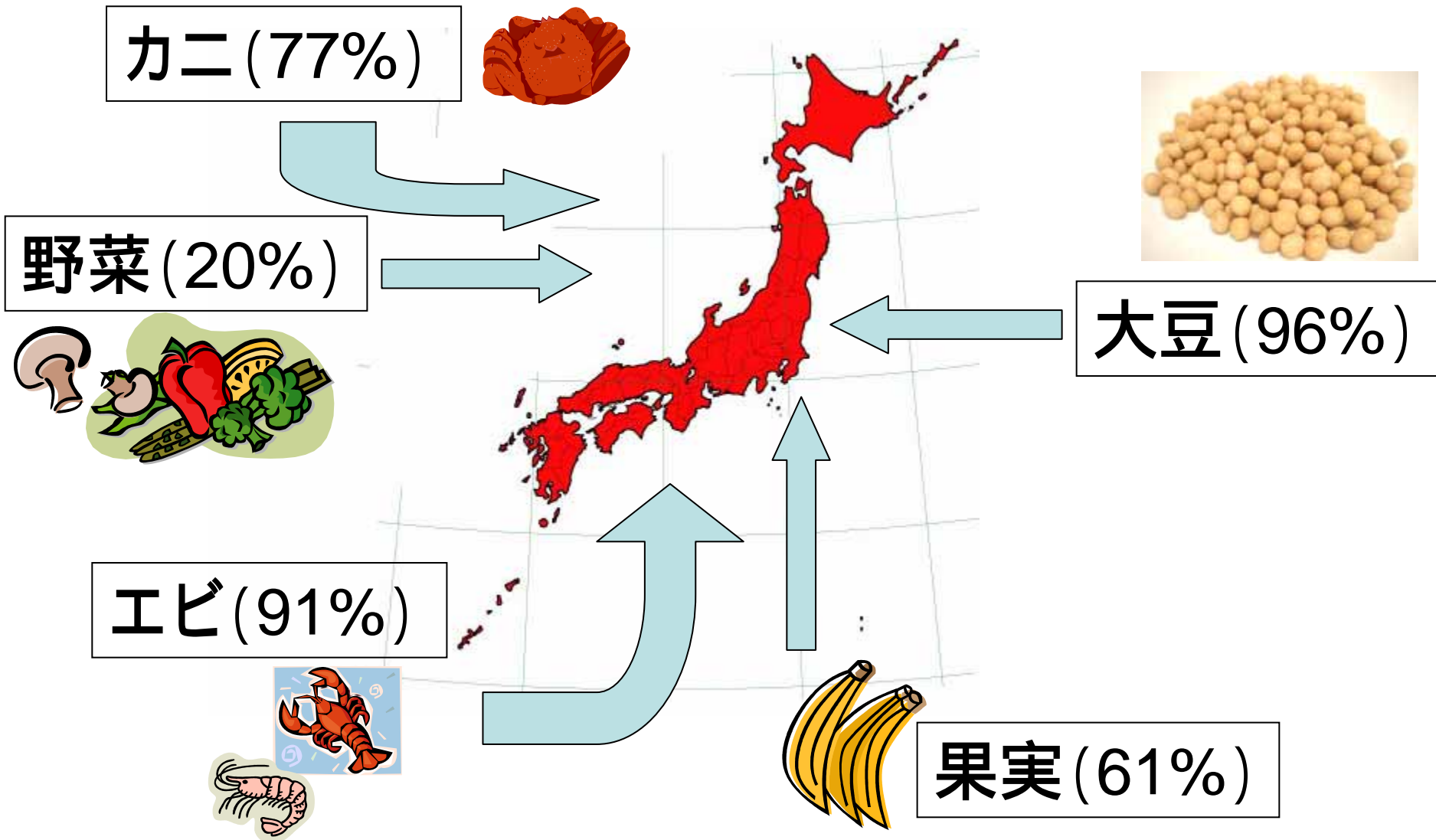
国立環境研究所ライダーネットワークによる東アジア3地点での黄砂観測



渡り鳥の主要な渡りルート

(渡り鳥は囲みのエリア内を南北に移動する)

食物の輸入割合 (重量%, 2004年)



アジアの環境研究の意義

1. 日本を含むアジアの環境保全と人々の安全・安心
2. 環境の「ホットスポット」アジアから地球全域へ
3. 「環境」+「経済」+「文化」のサステナビリティ
4. 国際協力による研究力向上とネットワークの強化

ご静聴 ありがとうございました

